



ゆらがわ

舞鶴市立由良川小学校

学校だより 12月号

〒624-0955 舞鶴市字丸田74番地

TEL: 0773-82-0013

令和4年12月1日発行

一流の時間の使い方

～世の中の一流と言われている人たちとその時間の使い方の関係、エリクソンの研究より～

新型コロナの第8波が心配される中ですが、サッカー W 杯で世界中が盛りあがっています。映像を見ているとマスクなしで大きな声援をしている姿を見ると新型コロナに対する意識はかなり緩和されているように感じます。しかし、舞鶴市でも感染者拡大の状況が見られますので、引き続き感染対策を意識しての活動となっています。

まだまだ落ち着かない状況ですが、集中して何かに取り組むことは大切だと思います。黄金に輝いていたイチョウの葉もすっかり落ち、冬の訪れを感じます。そんな時の流れを意識する中で、時間の大切さや集中することの大切さを改めて感じます。エリクソンという学者は「一流」「天才」と呼ばれるようになった人たちと、「二流」「三流」と呼ばれる人たちは、いったい何が違うのかを明らかにしようと思いました。そうしたら、1つの違いがわかってきたそうです。

一流と呼ばれる人は、7歳から20歳の間に、平均して10,000時間の練習をしていたのだそうです。これに対して、一流でない方のグループの人たちは、同じく7歳から20歳の間に、平均して5,000時間の練習をしていたそうです。さらに、天才や一流と言われた人たちは、集中して練習した時期があったそうです。そして、ここが大事なところですが、その集中して練習した時期が、早ければ早い人ほど一流になっているのだそうです。つまり、たくさんの時間練習する、集中して練習する、なるべく早い時期に練習することが、一流の人になるために有効だということです。



W杯の日本代表メンバーを見ても、26名中16名が海外のチームに所属していて時代も大きく変わったと感じます。多くのメンバーは当然ジュニアチームに所属していて最年少の久保建英選手は小学生の時にスペインのクラブチームに入団しています。7歳から20歳といえば小学校から成人までとなります。久保選手のように、小学校から海外で練習しようと思うと自分の力だけでは無理で、親の協力や環境、そして本人の実力がなければなかなかできません。東京オリンピックでは、久保選手にとって思い出の多いスペインとの試合において延長戦に入っただけの敗戦となってしまいましたが、W杯のグループリーグ最終戦で再び因縁の相手スペインとの決戦となりました。勝てば決勝トーナメント出場が決まる大事な1戦となります。しかし、試合に出場できるのは先発メンバーの11名、交代メンバーは5名までとなっているので、どうなるかはわかりません。A代表ではこれまで1ゴールと結果はあまり出せていません。また、フランクフルト(ドイツ)所属で今シーズン好調で日本人の中でも期待度が高い鎌田大地選手もこれまでノー・ゴールと力を充分には出せていないように感じます。いかに大きな舞台上で自分の力を出し切ることが難しいのを感じます。

みなさんの中にも、勉強をがんばっていたり、習い事をがんばっていたり、スポーツをがんばっていたりする人がいますね。だれでも、自分の力を認めてもらいたいと思うはずですが、今は、ちょっとやる気が出なくて集中できない人もいます。将来の自分を思い描き、ここでもうひとがんばりしてみようでしょうか。そのためには、勉強や習い事を好きになり、楽しんで練習することが一番です。



人権月間の各学年の目標

- ♡1年・・・「人がいやがることをいわない。みんなでなかよくあそぶ。」
- ♡2年・・・「じ分と同じくらい友だちを大切にしよう。声をかけていっしょにあそぼう。
友だちのいいところを見つけよう。」
- ♡さくらぎ・・・「やさしい言い方をしよう。たすけ合おう。」
- ♡3年・・・「みんな笑顔になろう。まわりに思いやりをもってすごし、いいところを伝え合おう。」
- ♡4年・・・「みんなが楽しく、大切にされるようにやさしい気持ちをもとう！」
- ♡5年・・・「友達を思いやり、助け合って、楽しい学校生活にしよう。」
- ♡6年・・・「人と意見や考えがちがっても否定せずに受けとめわかちあう6年生」

11月14日(月)～12月13日(火) 人権月間

校長 中江 浩二
教職 員 一同